

「今月の1枚」



写真 1



写真 2



写真 3

マツノミドリハバチ *Nesodiprion japonicus* Marlatt (膜翅目マツハバチ科)

写真は四国支所構内のアカマツ苗木に発生していたマツノミドリハバチの幼虫です(写真1, 写真2)。分布は本州, 四国, 九州, 沖縄, 朝鮮半島, 台湾, 北米におよびます。幼虫はアカマツ, クロマツ, ストローブマツ, カラマツなどマツ科の針葉を食害し, とくときマツ類の幼齡木に大発生し, 写真のようにアカマツの葉を食い尽くすこともあります(写真3)。終齡幼虫の体長は約2 cm, 胴部は光沢のある緑色のイモムシで, 頭部の側面から頭頂にかけて黒斑があります。年2~3回の発生で, 幼虫による加害期間は6~10月に及びます。

(写真・文: 松本 剛史, 2007.7.18 四国支所構内にて撮影)

(N0.158 2007.08.06 掲載)